

2011年10月27日

「議論」、「教えられる・教える」 「決定する」を考える

群馬大学大学院 工学研究科

電気電子工学専攻

小林春夫



仏教の言葉から

- 三人寄れば文殊の知恵

3人集まれば優れたアイデアが出る。

注意： 話し合いの方法に大きく依存する

- 人を見て法を説く

釈迦は話す相手によって理解しやすいように話し方を変えて仏法を説いた。

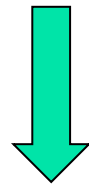


落語家の芸に学ぶ

「笑点 大喜利」

聴衆は、落語家の話に笑うとともに
その芸に感心している。

問題を与えられ、その場ですぐ優れた回答。



工学・技術の議論の際にもこうありたい。



三国志に学ぶ 七歩の才

魏の曹操の後継者争い

曹丕(次男)「七歩あるく間に兄弟の詩を
「兄弟」の言葉を使わずに作れ。」

曹植(三男)「豆を煮るに豆殻をもってす。
豆は釜の中に在りて泣く。。。」



なぜ兄弟なのに争うのかを言う。

人々の涙をさそい、曹丕は自省し曹植は許される

その場で最高の回答ができる能力

ベル研究所では会議はなかった

- マイクロ波工学 黒川兼行氏 -

- ベル研究所では、全部書面でやりとり。
- **会議** → groupthink
一人で考えると正しい結論が導けるのに
集団で会議すると誤ってしまう。

「集団的浅慮」の側面あり。

船頭多くして 船山に登る

誰が物事を決定するのか

- Risk Taking の考え方 -

- 利害関係にある人(リスクを取る人)が物事を決定する。

- そのことが成功すれば利益を得る
- 失敗すれば痛みを味わう

例： 自分の人生は自分が決める。

- 外部有識者、評論家・引退した人の意見
➡ 参考としてきく。



まとめ

- 複数の人との議論
 - うまくやれば、よいアイデアが生まれる
 - まずければ、時間の浪費・誤った結論
- 聞いてすぐ優れたわかりやすい回答ができる能力を身につける。
- 決定するのはリスクをとる人